

令和元年度事業計画

はじめに

昨年度は、未曾有の豪雨災害により総社市でも多大な被害を受け、シルバー人材センター事業にも災害の影響がありましたが、現在も復興に向けて様々な対策が取られているところです。

こうした中、国（厚生労働省）では少子・高齢化が進展する中、健康で意欲と能力がある限り年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」の実現に向けた取り組みを進めており、シルバー人材センターもその中核を担う組織として、その活用を推進することが掲げられました。

また、総社市が、60歳～70歳の高齢者を対象に実施したアンケート調査では、現在働いている人のうち、いつまで働きたいかという設問で6割の人が「いつまでも」と回答しており、現在働いていない人では、今後「働きたい」との回答が3割となっています。こうした健康を維持し、引き続き働きたいという意欲を持った市民の高齢者の期待に応えるためには、多様な受け皿が必要であり、生きがいつくりと健康づくり、また社会参加を目的としたシルバー人材センターの地域に根差した活動がその一翼を担えるものであると考えております。

平成31年度は、剪定、草刈、襖・障子の張替等に従事する会員不足の解消に対応すべく、組織の増強を目標として、健康で働く意欲を持った市内高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、高齢者の受け皿としてその機能を十分に発揮し、地域社会の活力を維持しながら「生涯現役社会」の実践できるシルバー人材センターを目指し、以下の事業に取り組みます。

1. 基本方針

- (1)会員の拡大とセンター基盤の強化
- (2)安全・適正就業の推進
- (3)就業機会の維持・拡大と派遣事業等の推進
- (4)事業拡大のための各種講習会、研修会の実施
- (5)普及啓発及びPR活動の推進
- (6)高齢者の就業拡大に伴う調査・研究
- (7)関係諸機関・団体との連携強化
- (8)財政基盤及び組織体制の充実・強化

2. 事業実施計画

(1) 会員の拡大とセンター基盤の強化

- ① 全国シルバー人材センター事業協会の掲げる「会員 100 万人達成計画」に基づき、様々な機会を有効に活用し、臨機応変な対応をもって、会員の拡大に努めます。
- ② 地域の就業ニーズに合った適切な対応が取れるよう、会員拡大を基にしたセンター基盤の強化を図ります。

(2) 安全・適正就業の推進

- ① 会員が自らの安全の確保と健康の維持を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全だよりの発行、安全パトロール、安全講習の実施などにより啓発活動を実施します。
- ② 「安全就業基準」の遵守を基本に、刈払機による飛び石事故対策、剪定作業による転落事故対策を強化します。
- ③ 適正就業については、「適正就業ガイドライン」、「会員適正就業基準」等に基づいた事業の運営に努めます。

(3) 就業機会の維持・拡大と派遣事業等の推進

- ① 就業機会の拡大対策の一環として、ホームページ上に会員の免許・資格情報が掲載できるよう、その情報収集に努めます。
- ② 会員・役職員が、組織の一員として「一会員、一就業開拓」活動など、地域の実態に合った就業開拓に努めます。
- ③ 請負・委任になじまない臨時的かつ短期的、その他軽易な業務での就業については、労働者派遣事業、職業紹介事業での就業を推進します。

(4) 事業拡大のための各種講習会、研修会の実施

- ① 地域に就業ニーズがあっても、対応できる会員が不足している「慢性的な会員不足」に対応するため、就業に必要な技能や知識を付与するための技能講習会の実施に積極的に努めます。
- ② 会員としての基本である「接遇・マナー」、またそれぞれの就業場面での「安全対策」など、就業する上で必要な項目について、より適正で有益な研修会を実施します。

(5)普及啓発及びPR活動の推進

- ① シルバー人材センター事業の仕組みや内容について、市民から理解を得るため、地域全体に広く周知を図ります。
- ② 新規会員の加入促進を図るため、センター広報紙、PRチラシなどにより、積極的な普及啓発活動を行います。
- ③ 各種イベントや社会活動への参加により、シルバー人材センター事業のPRに努めます。

(6)高齢者の就業拡大に伴う調査・研究

- ① シルバー人材センター事業の拡充のため、活動実績を分析し、今後の就業開拓に伴う課題の抽出や対応策について検討を図ります。
- ② 会員増強や新たな就業拡大について、多様な見地からの各種調査・研究を実施し、今後の事業運営に活かします。
- ③ シルバー人材センター事業の拡充に必要な、運営上に関する各種情報等の収集及び調査・研究に努めます。

(7)関係諸機関・団体との連携強化

- ① 総社市の実施する「生涯現役促進地域連携事業」において、元気な高齢者が就業を通じて健康を維持し、社会参加ができるよう連携強化を図ります。
- ② シルバー人材センター事業の運営強化を図るため、岡山県シルバー人材センター連合会、県内ブロック協議会と協力し、事業内容の充実を図ります。
- ③ 会員拡大及び就業の拡大について、地域の関係諸機関・団体との連携強化を図ります。

(8)財政基盤及び組織体制の充実・強化

- ① 運営上必要な財源の確保について、事務費及び事業附帯経費等の見直しについての検討を図ります。
- ② 公益法人としての適正な事業運営の継続性を見地から、会員・役職員の意識改革を図り、より積極的に自主的な運営ができるよう組織体制の充実・強化を図ります。
- ③ 公益法人制度の関係法令を遵守した業務執行を行うため、職員の各種研修参加など事務局運営の資質向上を図ります。